

# 不香の花ぞ

(平成二十九年 度寮歌)

冠花君 作歌

佐藤亮君 作曲

一

不香の花ぞ柔らかに  
霊舞い遊ぶ繊細の  
樹間に薫る雪煙  
白妙綻ぶ棹透り  
蒼空麗しき北の幸  
憂き世肴に耽る子ら  
枯淡の美にも感激ずや

二

血潮滴るナナカマド  
落葉千々に原始林を抜け  
雪の波打つ海原か  
振れば残映光なく  
枯れ蔓覆うこの寮に  
自然に根ざす孤独得て  
冬の無情な愛を知る

三

散ればこそよと小夜嵐  
喧騒遠く鎮まりて  
銀壺に燃ゆる胸の中も  
愁い込めたる赤天も  
黙す吹雪に命涸ゆ  
厳しき雲海に唯独り  
帆立つ遊子馳せし渚